

ルサー相泊地区におけるエゾシカ捕獲結果（速報値）について

○囲いワナの実施結果（3月7日現在）

※1月31日～3月7日に計44頭を捕獲。

<実施内容>

- ・ 羅臼町ルサ川左岸（旧サケマスふ化場付近）に囲いワナを設置。
- ・ 本体工事期間：1月6日～1月21日（後日、電動扉や監視モニター等の追加工事若干あり）。
- ・ 周辺含む餌付け開始日：1月23日。
- ・ 誘引餌は主に乾草ブロックを使用した。一部は牧草サイレージ。ヒグマ誘引回避のためビートパルプやニンジンは原則不使用。

<実施結果>

- ・ 捕獲個体の内訳：オス成獣20頭、メス成獣23頭、0歳1頭（性別不明）。
- ・ 上記から電波発信機付きのメス成獣2頭を除く42頭を斜里町の有効活用施設へ搬出。

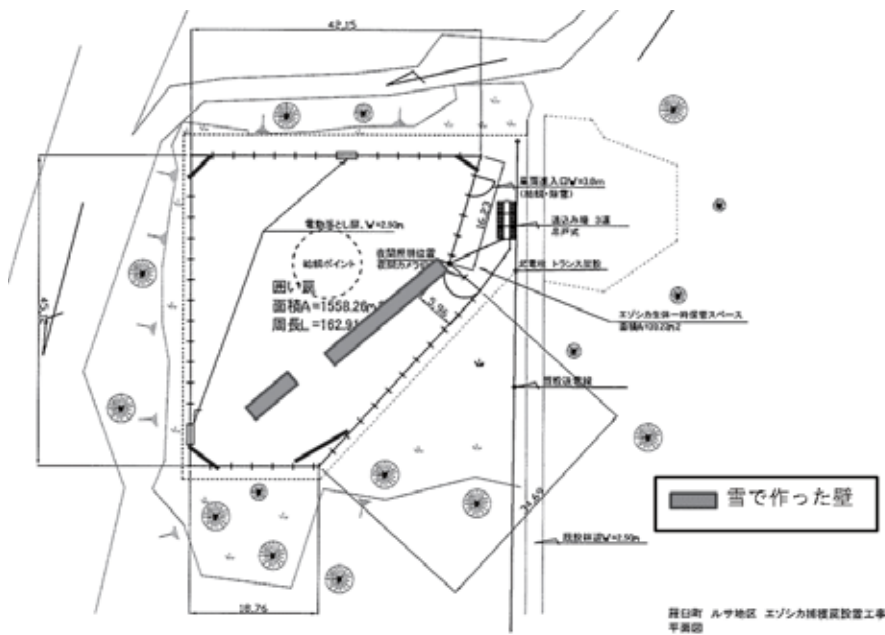


図 2-1-1. ルサ囲いワナ見取図

○シャープシューティング（SS）実施結果（3月7日現在）

※ルサ川右岸の環境省所有地内（囲いワナからの距離約300m）において、12月10日～3月5日にSSを計18回（日）実施、24頭の捕獲に成功。

<実施内容>

- ・ 餌付け地点には、毎回同じピックアップトラック（デニコラ博士アドバイスにより荷台に射撃台を取り付けたもの）で同じ服装の人が餌を運搬し、人と車の接近にエゾシカを馴らした。ま

た、同時に日中は継続的に爆音器を鳴らし、発砲音にも馴化させた。

- ・当該地区におけるエゾシカの活動時間帯に合わせて、原則として午後に数時間待機し、捕獲を実施。
- ・捕獲実施間隔は中 3 日以上。射手は 1 名で概ね同一人物に固定。
- ・餌付けの餌運搬用のピックアップトラックの荷台に射手が乗り、デニコラ博士のアドバイスに従い、40～50mの近距離まで接近。射手は射撃台から発砲する方式を採用。
- ・餌付け開始は 11 月 18 日、爆音器稼働開始は 12 月 3 日。
- ・誘引餌は乾草ブロックとヘイキューブ（ともにアルファルファ）。圧ペンコーンも少量使用。

<実施結果>

- ・捕獲個体の内訳：オス成獣 10 頭、メス成獣 12 頭、0 歳 2 頭（雌雄各 1 頭）。
- ・午後待機×18 日で、射手の総待機時間は 61 時間 37 分。
- ・射手待機中（日没前）のべ 50 頭が餌場へ出現。エゾシカの餌場滞在時間は計 3 時間 4 分（射手待機時間の 5 %）。
- ・上記の間に発砲可能な頭数の状況が 18 回発生し、38 発の発砲で計 24 頭を捕獲。
- ・群れに対する発砲後の半矢（手負い）逃走 2 頭、無傷逃走 18 頭。左記の他、車両や来訪者の攪乱による無傷逃走や、発信機付き個体に対する発砲見送り等が計 6 頭。
- ・半矢 1 頭（オス成獣）は後日死亡を確認（狙撃 11 日後に付近で死体発見・回収）。

<試行錯誤の経過とエゾシカの動向>

- ・12 月は比較的順調に捕獲された。
- ・1 月は、発砲するには多すぎるエゾシカが餌場に集中する傾向が強まった。また日没前の餌場への出現回数も減少したため、餌を減量して夜間に餌箱のフタを閉める操作を試行した（1 月 20 日～2 月 7 日）。その結果、エゾシカが餌場に出現しなくなった。
- ・2 月 8 日以降は餌を再び増量し、夜間も自由採食に戻した。以後、捕獲実施日（射手待機日）以外は少数が日没前に出現するようになった。2 月末以降は捕獲ペースにも復調の兆しあり。
- ・1～2 月の捕獲不調の原因としては、吹雪等の天候要因、新たな大量積雪の翌日は天候が回復してもエゾシカが休息場所から餌場までの移動を忌避した可能性、積雪による行動圏縮小に伴う群れサイズの増大、近接する囲いわな付近での小型重機による除雪作業を忌避した可能性、一部個体のスマートディア化などが挙げられる。
- ・1～2 月に射手が待機した計 13 回のうち、7 回はエゾシカが日没前に餌場へ出現せず。そのうち 3 回は日没直後（平均 9 分; 2～21 分後）に出現した。捕獲に成功した日も含めて、日没後 30 分以内に群れが出現した日は概して多かった（射手が待機した全 18 回中 8 回; 44.4%）。
- ・1 月 23 日に同じ群れのメンバー 2 頭の捕獲を経験した標識個体 17 番は、2 月 20 日までの約 1 ヶ月間、餌場への出現が確認されなかった（一度発砲を経験してスマートディア化した個体が再度警戒心をゆるめるまでの期間が判明した一例。ただし 2 月の再観察時には痩せて毛並みも悪かったため、栄養的に追い詰められた影響も考えられる）。

表 2-1-1. 平成 22 年度冬期のルサ SS 餌場へのエゾシカ出現状況および捕獲状況.

捕獲日	地点名	射手 の 人数	射手の		餌場周辺に エゾシカが視認 された時間(分)	発砲可能な 頭数状況の 発生回数	左記状況 下の 群れ構成	捕獲 頭数	逃走 頭数 (無傷)	逃走 頭数 (負傷)	発砲回数 (発射弾数)
			待機 時刻	待機 時間(分)							
12月10日	A	1	12:50-15:41	171	3(14:37-40)	1	6(♂2/♀4)	4(♂2/♀2)	1(♀1)	1(♀1)	7
12月17日	A	1	11:00-15:43	283	9(12:00-12:09)	4	1)3(♀3) 2)1(♂1)	1(♀1)	2(♀2)	0	4
					1(12:10-11)				0	0	1
					11(14:12-23)		3)2(♂1/♀1)	2(♂1/♀1)	0	0	2
					5(14:45-50)		4)8(♂4/♀4)	2(♂1/♀1)	6(♂3/♀3)	0	4
12月21日	A	1	11:20-15:44	264	9(12:57-13:06)	1	1(♂1)	1(♂1)	0	0	2
12月25日	A	1	10:50-15:46	296	15(11:05-20)	4	1)1(♀1)	0	—	—	0
					20(11:40-12:00)		2)1(♂1)	1(♂1)	0	0	3
					12(13:30-42)		3)2(♀1/f1)	2(♀1/f1)	0	0	2
					12(14:42-54)		4)4(♂2/♀2)	0	—	—	0
1月6日	A	1	11:50-15:56	246	0	0	—	—	—	—	0
1月18日	A	1	11:30-16:10	280	23(14:32-14:55)	0	—	—	—	—	0
1月19日	A	1	13:00-16:11	191	29(15:31-16:00)	0	—	—	—	—	0
1月22日	A	1	12:00-16:15	255	2(15:20-22)	1	1(♂1)	0	—	—	0
1月23日	A	1	14:30-16:16	106	8(15:06-14)	2	1)1(♂1)	1(♂1)	0	0	1
					5(16:05-10)		2)8(♂2/♀5/f1)	2(♀2)	6(♂2/♀3/f1)	0	2
1月31日	A	1	13:30-16:27	177	5(15:10-15)	1	3(♂3)	2(♂2)	0	1(♂1)	3
2月4日	A	1	14:00-16:33	153	0	0	—	—	—	—	0
2月8日	A	1	13:30-16:38	188	0	0	—	—	—	—	0
2月15日	A	1	13:25-16:48	203	0	0	—	—	—	—	0
2月16日	A	1	16:15-16:49	34	0	0	—	—	—	—	0
2月19日	A	1	14:00-16:53	173	0	0	—	—	—	—	0
2月25日	A	1	13:00-17:02	242	0	0	—	—	—	—	0
2月26日	A	1	13:30-17:03	213	1(13:34)	3	1)1(♂1)	0	1	0	0
					3(14:39-42)		2)3(♀2/f1)	1(♀1)	2(♀1/f1)	0	2
					5(15:29-34)		3)2(♀1/f1)	2(♀1/f1)	0	0	2
3月5日	A	1	13:30-17:12	222	6(14:54-15:00)	1	2(♀2)	2(♀2)	0	0	3
計		18		3697	184	18	50 (♂20/♀26/f4)	24 (♂10/♀12/f2)	18 (♂10/♀10/f2)	2 (♂1/♀1)	38

○公道からの SS 検討のための道道 87 号線沿いにおける餌付け試行結果

<実施内容>

- ルサー相泊地区における近年のエゾシカライトセンサスおよび日中センサス実施時のエゾシカ分布状況、捕獲可能な道路擁壁の切れ目の分布、及び、カーブ（エゾシカに他地点での捕獲実施を認識させないため）の状況等を参考に、公道からの SS の実施候補地点を抽出。
- 今冬は積雪が少なく、エゾシカの分布が例年とは若干異なっていたため、直前の分布調査で更に地点を絞り込み（Dsp1～12）、その中から雪崩予防柵等の工事現場を除外。最終的に計 4 地点（図 2-1-2 ; Dsp2, 4, 6, 8）で餌付けを試行。
- 誘引餌には乾草ブロックとヘイキューブを使用。餌付け作業には SS に用いている射撃台付きピックアップトラックを使用。

<実施結果>

- 餌付け試行期間：2月9日～2月19日の11日間。（3月の試行についても検討中）
- うち3日間は吹雪による通行止め等により、餌付けやモニタリングを実施できなかった。
- 4地点のうち2地点では、餌付け開始当日または翌日には餌付け成功を確認。残る2地点でも開始6日後には付近のシカ道からの誘導（最長150m）と餌付け成功を確認。
- 誘引された頭数は1地点あたり1～20頭（誘引時の平均頭数：4.7±4.2頭）。
- モニタリングを実施できた8日間のうち5日（62.5%）は、餌付け4地点のいずれかにおいて、視界内のエゾシカ頭数が3頭以下の状態（SS実施に好適）であった。

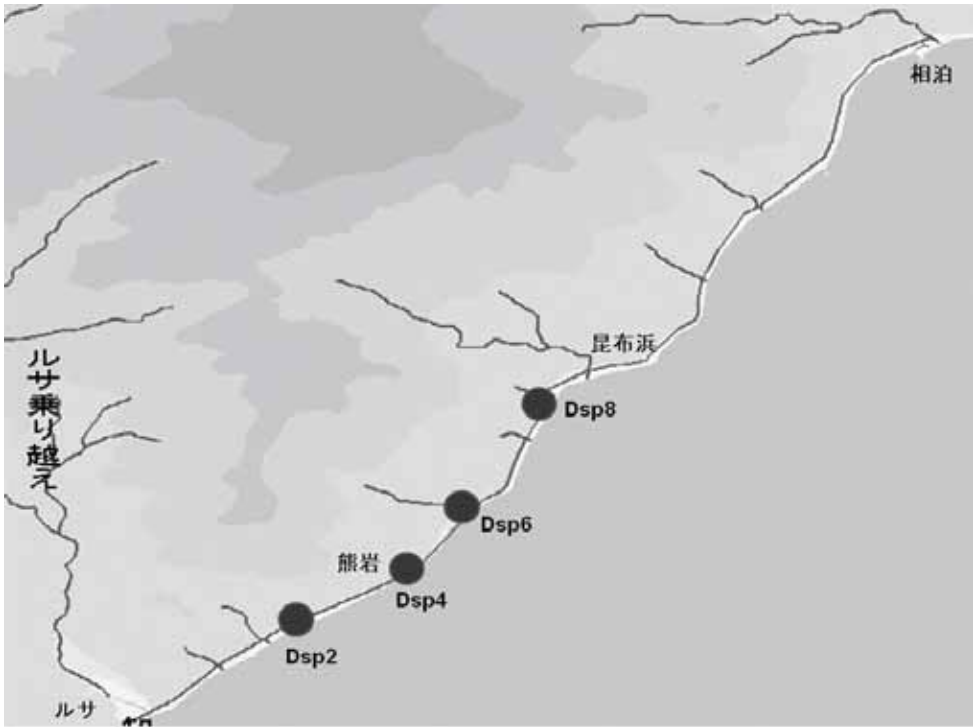


図 2-1-2. ルサー相泊地区における公道からの SS 検討のための餌付けの試行地点.
(国土地理院電子国土 5 万図改変)